

キラリと笑顔が輝くまち

とばぐらしの魅力を再発見



企画財政課移住・定住係
☎(25) 1227

市では、平成28年を「移住・定住元年」とし、都市部からの移住希望者を積極的に受け入れるため、切れないいきめ細やかな移住支援に取り組んでいます。鳥羽へ移住してイキイキと生活している移住者のかたにスポットを当て、普段当たり前に感じている暮らしの中にある魅力を再発見したいと思います。

今回は、地域おこし協力隊として、鳥羽三丁目・四丁目付近の「鳥羽なかまち」を中心に活動をしている佐藤創さんに鳥羽市での生活についてお話をいただきました。

※地域おこし協力隊は、総務省の制度で、都市部から地方へ移住し、農林水産業への従事や地域の生活支援などの「地域協力活動」を住民と共に行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。



はじめ 佐藤 創さん (28歳)
地域おこし協力隊
鳥羽暮らし魅力情報発信担当

《プロフィール》

- ・東京都あきる野市出身
- ・京都精華大学芸術学部メディア造形学科映像コース卒業後、東京にある(株)TBSテクスのCG部にて勤務、映像制作の仕事に携わる
- ・平成29年7月から地域おこし協力隊として鳥羽なかまちへ移住し、現在に至る

【鳥羽に移住するまでの生活は?】

大学卒業後にテレビ番組の制作会社で動画制作の仕事をしていました。

また、芸術関係の知人たちと、ギャラリーでアーティストの上映など、作家活動のようなくちも行っていました。

【地域おこし協力隊になろうと思った理由は?】

地域おこし協力隊は、地域のかたがたのニーズに沿った協力活動を行いながら、任期終了後は独立するというのが私の認識です。前職の時から将来的にはフリーランスでの映像制作の活動をしていきたいと考えていましたので、地域おこし協力隊の制度は、自

【移住する前の鳥羽市の印象は?】

僕は鳥羽市どころか、三重県の場合でさえよく理解していませんでした。失礼な話ですが、鳥羽水族館や伊勢海老など有名な施設

【実際の鳥羽市(鳥羽なかまち)での生活は?】

や魚介類ぐらいいしか認識していませんでした。

僕は魚が好きなんですけど、鳥羽の魚、特に白身魚がすごく歯ごたえが良くておいしいことに驚きました。

人づきあいについては、都市部では隣の人と挨拶することがめつたにありませんでしたが、こちらに来てからは、挨拶はよくするし、街中を歩いていると、突然お店に呼ばれてそのまま飲み会になるなど、濃い人づきあいができていく感じます。





主な活動

- ☆鳥羽暮らしのプロモーション動画制作
- ☆鳥羽なかまちを拠点に地域の暮らしの中に潜在する魅力を動画などに編集した上で、ウェブサイトやSNSなどを通じて情報発信を行う。

作成動画紹介



佐藤さんが作成した鳥羽なかまちの紹介動画を、ケーブルテレビZTVの行政チャンネルとばで放送している「テレビ広報とば」やYou Tubeでもご覧いただけます。



You TubeのQRコード

【鳥羽市(鳥羽なかまち)での暮らしの魅力は?】

鳥羽なかまちに住む有志が集まる鳥羽なかまち会では、住民のかたがたが地域の賑わいを取り戻そうと、活発に意見を出し合ってさまざまな企画を立て活動をしていて、みなさんがとても魅力的に感じます。

【地域おこし協力隊での活動エピソードを教えてください】

鳥羽なかまち会では、鳥羽なかまち三十六点景という名

所作りの企画に取り組んでいて、頼まれたわけではなかったのですが、なかまち三十六点景のキャラクターを作って集まりの場に持っていったところ、思いのほか喜んでもらえたことが嬉しかったです。

【地域おこし協力隊でどんな活躍をしていきたいか?】

鳥羽なかまち会では住民のみなさんがとても積極的に、地域を盛り上げるためのイベントや魅力発信などの企画に取り組んでいるので、私もそ

こに参加して動画制作を行いながら、それらの企画を形にするお手伝いができればいいなと思っています。
また、それによっていろいろな人たちに鳥羽なかまちを知ってもらい、訪れる人や、移住してくれる人が増えてくれればと考えています。



鳥羽なかまち三十六点景のキャラクターなかでんでん